

総合的な学習の時間（人権）学習指導案

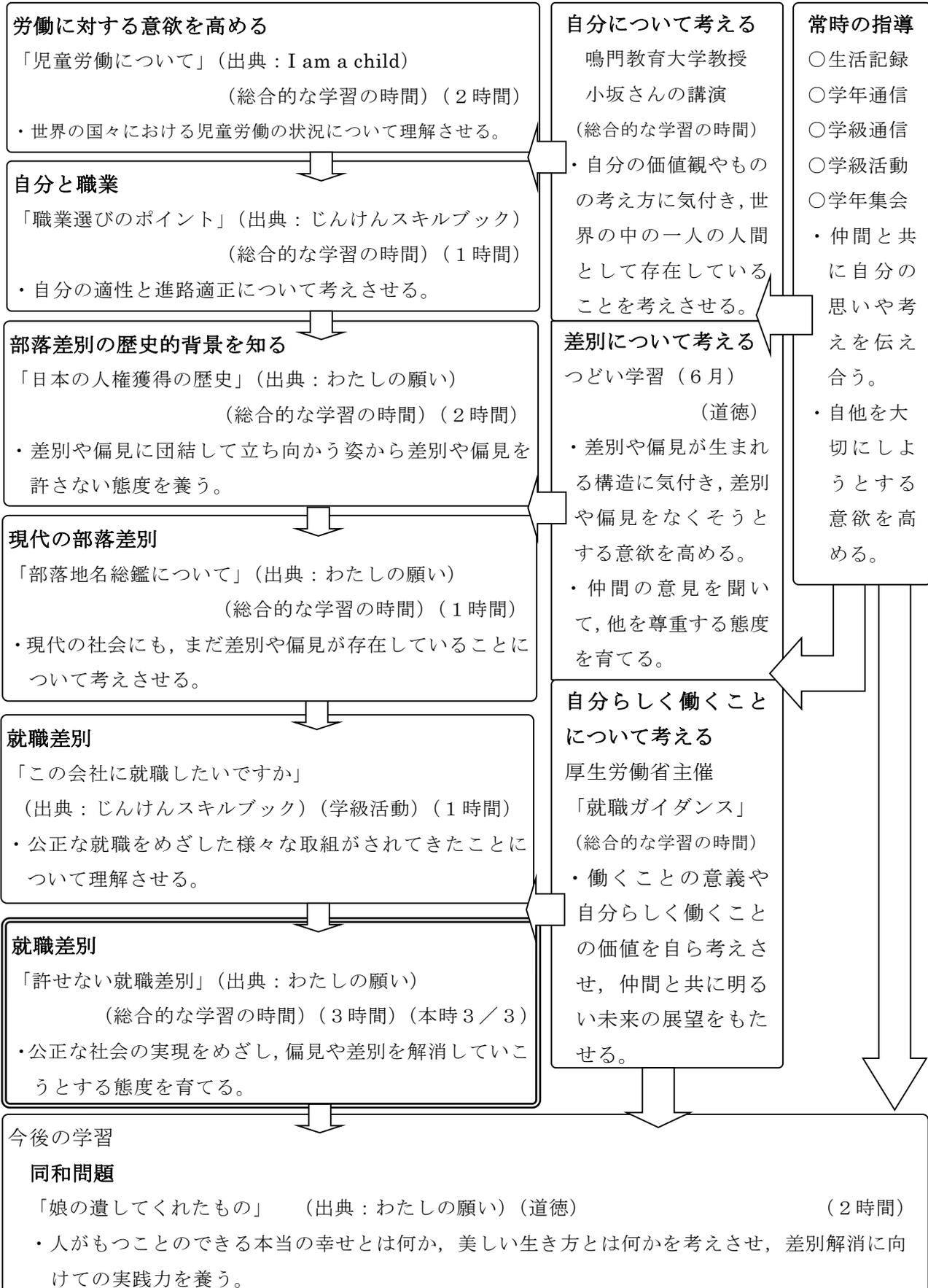
1 主 題 公正な社会の実現をめざして

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

「職業選択の自由」や「就職差別」に関する学習を通して、誰もが公平な立場で職業選択ができる社会の実現をめざそうとする態度を育てる。

4 指導計画（時間）



5 本時の学習

(1) 目 標

かつて使用されていた社用紙の中にある問題や差別性を理解させ、公正な社会の実現をめざし、偏見や差別を解消していこうとする態度を育てる。

(2) 普遍的な学習のテーマ 法の下の平等

個人人権課題名 同和問題

(3) 展 開

学 習 活 動	指導上の留意点
1 かつて使用されていた社用紙と現在使用されている統一用紙を比較して、前時に学習した内容を確認する。	○これまでの学習を想起させ、かつて使用されていた社用紙の中にある問題や、差別性を確認させる。 ○差別解消に向けて取り組んできた歴史や本人に責任のない事柄を選考基準にしてはいけないことを理解させる。 ①
2 就職差別について学んできて、自分の思いや印象に残ったところを発表する。	○就職差別について自由に様々な意見を述べさせる。 ③
3 公正な社会の実現をめざして、差別選考をなくすためにどうすればよいか、これからの生き方について発表する。	○これまでの取組や学習を通して、これからの差別解消に向けて自分に何ができるか具体的に考えさせる。 ②
4 本時のまとめをする。	○友達の意見を聞いて自分の考えが深まったところや、気付いたことを発表させ、差別解消に向けて自分にできることを実行していこうとする意欲を高める。 ②

(4) 評 価

- ・全国高等学校統一用紙ができるまでの歴史的経緯が、差別解消をめざした取組だったことを理解することができたか。 (知識的側面) ①
- ・公正な社会の実現に向けて自分に何ができるかを考え、差別を解消していこうとする意欲を高めることができたか。 (価値的・態度的側面) ②
- ・自分自身の変容やこれからの生き方について、他者の意見を受け止めるとともに、自分の考えを表現することができたか。 (技能的側面) ③